



2024年3月1日

各 位

会社名 株式会社ビケンテクノ
代表者 代表取締役社長 梶山 龍誠
(コード番号 9791 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役専務執行役員 神月 義行
(TEL.06-6380-2141)

当社元社員によるマンション管理組合財産着服事案に対する再発防止策に関するお知らせ

当社は、2月14日付の「専門家による調査委員会の調査報告及び当社の対応に関するお知らせ」により公表しましたとおり、調査委員会の指摘・提言等を踏まえ、本日開催の取締役会において再発防止策を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

株主・投資家、取引先をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしましたことを心より深くお詫び申し上げますとともに、下記の再発防止策を着実に実施し、全社を挙げて改善に取り組み信頼回復に努めてまいりますので、何卒今後とも倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

調査委員会の指摘と提言を踏まえて以下の再発防止策を策定し、既に着手しています。

1. マンション管理課における再発防止策

- ・マンション管理課において、「マンション管理の適正化の推進に関する法律」に即した業務手順を文書化等して特定・明示し、マンション管理課内の構成員による相互牽制機能の実効性を高める等の自律的な管理体制の構築を進めます。また、当社グループでマンション管理業務を行っているグループ会社への承継の可否も選択肢として検討します。

2. 管理部門等における再発防止策

①経理部

- ・経理部によるマンション管理課に対する牽制機能を強化するために、経理部の管理職の人員の拡充を図ります。

②監査室

- ・監査室の監査機能を充実させるため人員を拡充し、マンション管理課の業務の特性や法的規律に着目した監査方針を策定し、実施します。

③監査役会

- ・監査役会の監査業務を補助する事務局を設け、監査役が監査室から独立して、独自の視点で監査を行う体制を実現し、監査室の監査活動の充実にも繋がる取組みとします。

3. 本件不正行為が発生した背景に対する措置等

①営業を偏重する組織風土・価値観の払拭

- ・代表者をはじめとする経営幹部が、コンプライアンス重視のメッセージを明確に打ち出すとともに、社内研修等においてコンプライアンス遵守の重要性を重ねて周知し、かつ、管理部門が現業部門に対して適切に経営モニタリングを実施することにより、組織風土の改革に地道な取組みを進めます。

②取締役会の機能強化、現場への権限の委譲

- ・各担当部門の行使すべき権限を明確化し、その裁量を拡大することにより、各担当部門の主体的な決定を尊重する体制に変容させ、役職員の取組みを実効性あるものにします。

③その他の施策等

ア) 社内手続の電子化の取組み

- ・業務フローの効率性・透明性の確保のため、業務フローの電子化の取組みを進め、DX化によって社内の業務に対するモニタリング機能の強化を図ります。

イ) 人事部門における施策

- ・人事部門による全体最適を見通した人事計画や人材育成等を強化するため、全社的人事ローテーションや人材育成を含めた人事計画を策定して実行します。

ウ) 法務部門における施策

- ・「マンション管理の適正化の推進に関する法律」を含めた業法規制に関する法令やガイドラインの改正等の動きを積極的に把握し、各部門にその情報を発信し、業務フローの改善等の検討を促進するような仕組みについて適切に対応するため、法務部門の人員の拡充を図ります。

当社グループの全役職員が一丸となって再発防止策の実行に取り組み、信頼回復に努めてまいりますので、関係各位におかれましては、今後とも何卒倍旧のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上